

令和4年12月2日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

議会広報広聴常任委員長 西 尾 寿 樹

委員派遣結果報告書

本委員会の調査事件について、下記のとおり委員を派遣したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

令和4年9月21日（水）

2. 場 所

東京都千代田区平河町2丁目7-4 シェーンバツハ・サボー1階「利根」

3. 内 容

全国町村議会広報研修会

①「そろそろ化けませんか!!」～絶滅危惧から持続可能な議会広報へ～

講師：議会広報ファシリテーター、熊本大学客員教授 越地 真一郎 氏

②これからの議会広報を考える

～住民に“伝わる”情報発信と広報誌作成のポイント～

講師：東京都杉並区広報専門監 谷 浩明 氏

③優秀議会広報クリニック 3つの議会広報が教えてくれること

講師：エディター 吉村 潔 氏

4. 目 的

住民と議会との意思の疎通を図り相互信頼を培うため重要な役割を果たしている町村議会広報紙の、一層の内容の充実並びに編集技術の向上のため。

5. 派遣委員

仲井 荃 議員、西尾 寿樹 議員

6. 所感等

全国から集まった多くの議員との受講は、いつもと違う緊張感があり、議会だよりを作成するにあたっての多くのヒントを得ることができた。

まず、広報紙面づくりの方向性となる編集方針を策定し、表紙についてはシンプル&インパクトを重視しながらのイメージや色のコーディネートなどの使い方、話題づくりや読者にも広がる住民とのコラボレーションでの一体感の在り方を学んだ。

広聴を生かして住民とのキャッチボールを重視することで、関心の高い案件をクローズアップすることと、議案審議は住民目線で絞り込みを行うこと、魅力的な編集・レイアウトでは、メディアの特性を生かした「読む」・「見る」のサイクルを基にした文章の作り方を、広報トピックスではICTを活かした今後の議会活動の在り方を、事例やデータ等を交えて研修を聞いた。

より深く説明するためのQRコードの活用法には、広報紙を作成する編集委員として一歩先を考えさせられた。